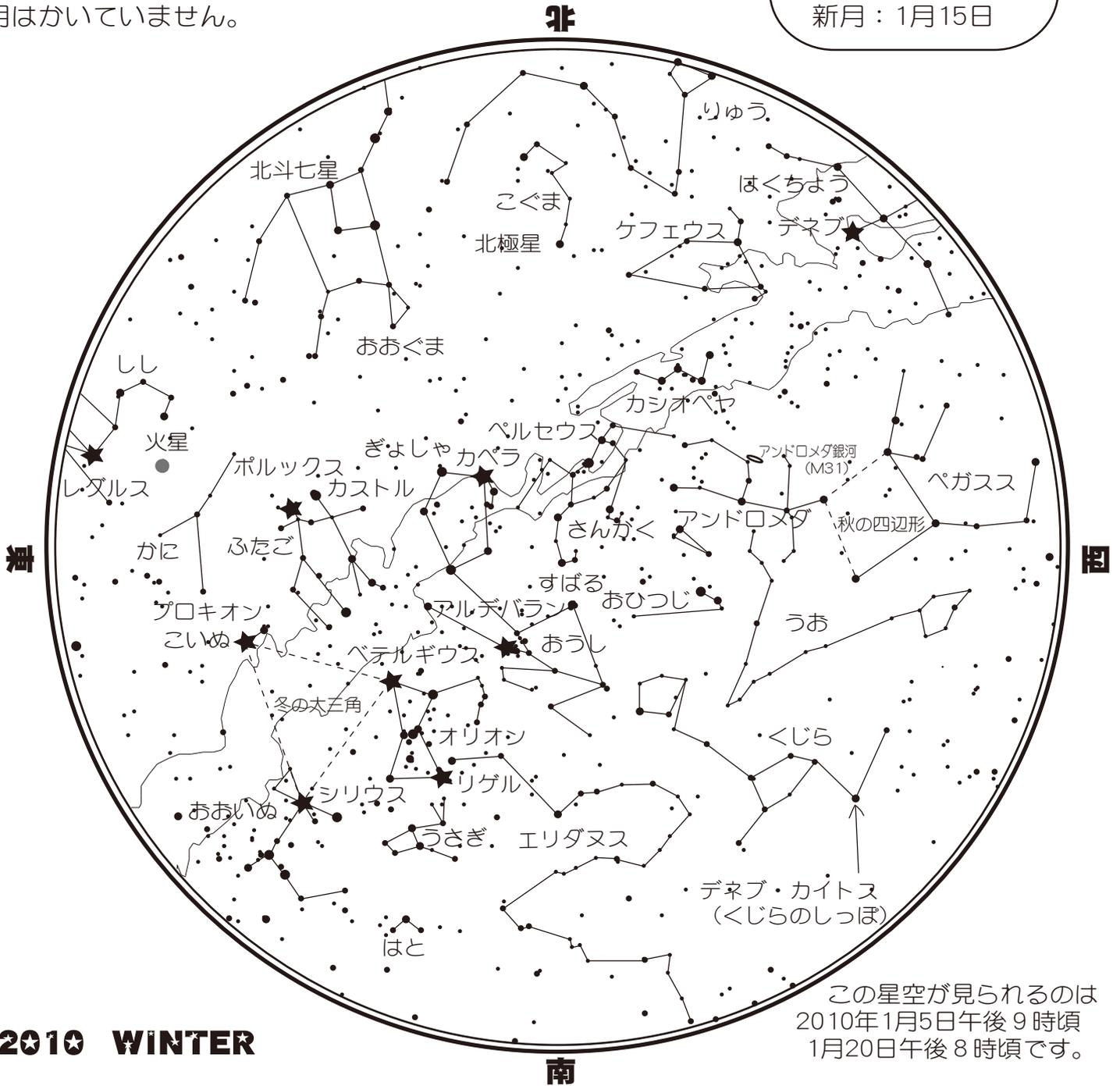


# ★ 姫路で見る1月前半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。  
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。  
★は一等星を表しています。  
月はかいていません。

満月：1月1日  
下弦：1月7日  
新月：1月15日



## 2010 WINTER

### ★冬のキラキラ星

冬の星座は明るい星がたくさんあります。オリオン座の肩で輝くベテルギウスと、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンからなるのは「冬の大三角」です。頭の上には、おうしの赤い目に当たるアルデバランや、ぎよしゃ座のカペラ、ふたご座の仲良し星、弟ポルックスと兄カストルが輝きます。一番わかりやすいオリオン座の星からたどるのがよいでしょう。

暗いところに目がなれてくると、暗い星も少しずつ見やすくなります。おうし座の背中には

すばる（プレアデス星団）という星の集まりがあります。目のいい人なら6、7個の星が集まって見えます。実際には、数百個ほどのまだ若い星が集まって輝いているところです。

夕暮れの空で一番星として輝くのは、太陽系最大の惑星、木星です。少し遅くまで起きていると、東の空に赤く輝く火星を見ることができます。太陽の周りを回る惑星たちは、少しずつ見える場所が変わります。星座の星と間違えないように探してみてください。

この星空が見られるのは  
2010年1月5日午後9時頃  
1月20日午後8時頃です。